

ドラム缶橋から三頭山 三頭山

実施日 2019年4月29日(月・祝)

天候 曇り

リーダー 中村 友子

参加者 服部美千代、涌井良明、小村井好枝、石附智江、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、石原勝正、小名秀鋭、宮崎敏男 計10名

費用 2,452円(立川起算)

タイム 深山橋BS(9:10~9:15)登山口(9:20~9:30)ヌカザス山(11:10~11:25)三頭山西峰(12:40~13:15)中央峰・東峰~鞆口峠(14:10)案内所・バス停(14:25~14:35)武蔵五日市駅(15:50)

昨日は好天だったもののゴールデンウィーク前半は曇りから雨の予報で始まった。早朝、日も差し始めはずれた?と思ったが予報通りの曇り空でスタート。

奥多摩駅からは増発便もあり、かなりの混み合い。奥多摩湖の水位は低くドラム缶橋は使えない。

深山橋、三頭橋を渡りすぐ右手から登山道に入る。同じコースの登山者が多いのに驚いた。



しょっぱなから急登が始まり、汗だくに。奥多摩湖から三頭山へのコースはかなりハードで夏

山に向けて良いトレーニングになった。渡りたかったドラム缶橋からのヌカザス尾根に合流。

手前ではロープたよりに尾根に着いた。大休止とし、ポツポツ感じたので軽食

をとりオツネの泣き坂へ。急登で苦しくオツネが泣いたのではなく豪族に仕えていたオツネと僧侶の恋物語からの伝説の様だ。



興味ある方はネットでお調べ下さい。こぶし会のメンバーはいわゆる泣く事なくクリア。

西峰で2回目の昼食。立派な標柱が建っていた。表側からの登山客も多い。



登り始めは若葉が目にも染みたが山頂に



近づくとつれまだ山肌は冬から抜けきっていない。中央峰、東峰、(これ

で三つの頂き)を通過して展望台。

ここからはほとんど下るのみ。

登山者も少なくなり静かな落ち着いた登山道を快適に鞆口峠を右折し進み案内所に到着。



丁度のバス時間で乗車、数馬で乗換え武蔵五日市駅で解散とした。

(記・中村 友子)
(写真提供・涌井良明/石原勝正)